

久木田重和教授退任記念号の発刊に寄せて

久木田重和教授は、2014年3月に、2期目の学長職任期満了とともに東京経済大学を退任されました。43年間の長きにわたり、教育、研究、大学運営にご尽力くださり、経営学部並びに本学の発展にご貢献くださったことに、心よりお礼申し上げます。先生のご功績に対して、2014年5月に本学より名誉教授の称号を贈らせていただきました。そして、ここに、先生のご退任を記念して、『東京経大会誌（経営学）』記念号を贈呈させていただきます。

2014年春には新図書館が開館し、2012年に完成した新5号館とともに、本学の新しいシンボルとなりました。外見・内装ともにすばらしい図書館には、従来の2倍の利用者が集まり、夜間まで真摯に学ぶ多数の学生の姿がみられます。また、今年は経営学部開設50周年、大学院経営学研究科開設30周年の年にあたります。新装成ったキャンパスで、このように慶賀するべき節目を迎えることができましたことも、久木田前学長のご尽力によるものと、感謝いたしております。

久木田先生は、九州大学経済学部、同大学大学院経済学研究科修士課程並びに博士課程で会計学を学び、1971年4月に本学経営学部にて専任講師として着任なさいました。学部および大学院で、「簿記原理」や「会計学原理」などを担当なさいました。2008年4月から2014年3月まで学長を務められたほかにも、経営学部長、大学院経営学研究科委員長、図書館長などの役職を歴任なさり、本学および経営学部にとって、なくてはならない重要な方でした。

久木田先生の教育面でのご功績として特筆すべきことは、特修コース「税理士・公認会計士試験研修講座」の主任・委員長等を10年間務められたことです。大倉商業学校以来の伝統である簿記・会計学の教育に尽力なさり、多くの税理士、公認会計士の養成に貢献なさいました。久木田先生並びに会計学担当の諸先生の努力の成果は、卒業生組織である大倉公認会計士会および税理士葵会の活動や、会計プロフェッショナル・プログラム（2007年開設）にも結実しています。さらに、2015年度より、多数の卒業生が所属する東京税理士会の寄付講座「我が国の租税制度と税理士制度」が開講され、毎回本学出身の税理士が講師となって講義を行うことになりました。このような企画が実現した背景にも、久木田先生をはじめとする会計系教員の熱意と指導力の高さがあるといえるでしょう。

ご研究の面でも、久木田先生は日本におけるオランダ会計・時価主義会計研究の第一人者でいらっしゃいます。時価主義会計の一形態である取替価値会計について、1970年代初期から現在に至るまで研究を継続し深められ、多くの業績を発表なさいました。1978年8月から79年7月までの1年間は、オランダ国立ロッテルダム・エラスムス大学において、国外研究員としてオランダの取替価値会計に関する研究に従事なさいました。さらには、研

久木田重和教授退任記念号の発刊に寄せて

究・教育両面の成果として、公認会計士試験の試験委員を務められ、社会的にもご活躍なさいました。

久木田先生が学長に就任なさった2008年にはリーマンショックと呼ばれる世界的金融危機が起こり、日本経済にも大きな影響を及ぼしました。また、大学界を眺めると、少子化傾向が続いているにも関わらず、大学数は1980年の446校から2000年には649校、2014年には781校へと増加しています。近年は大学進学率がさほど上昇しない中で、私立大学数が600を超えるまでに増えています。

このように、久木田先生は大学運営が大変難しい時期に学長を務められたわけですが、本学がこれからの厳しい競争に立ち向かうための基盤を整備して下さったことに、改めて感謝いたします。そのご功績の1つは、国分寺および武蔵村山のキャンパス整備に取り組みされたことです。さらに、創立110周年にあたる2010年には「TOKYO TOP30構想」を立案し、教育、研究、就職、学生支援、環境、国際性、社会貢献の7分野で、首都圏にある大学の上位30位に入るという目標を提示なさり、その実現に向けて努力なさいました。

常に大学運営の舵をとり、公務に追われる日々を送りながら、久木田先生は「演習（ゼミ）」を担当なさり、学生との接点を大切になさいました。久和会（きゅうわかい）という卒業生組織との交流は、ご退職後も先生と東経大を結ぶ絆として末永く続くものと存じます。2014年3月には、「国際会計基準（IFRS）と日本の対応」と題して退任記念講義をなさり、多くの卒業生や大学関係者が出席しました。グローバル人材育成が叫ばれる今日、企業行動のグローバル化を会計面から理解し実践できる人材の育成も、本学の今後の課題であると再認識いたしました。

学部教授会でも全学教授会でも、感情を露わにせず、いつも落ち着いていらしたのは、先生の温和なお人柄によるものと存じます。40年余にわたり本学に奉職なさり、私たちをご指導くださった先生が退職なさったのは大変残念なことです。今後のご健勝と益々のご活躍を祈念して、久木田先生への感謝の言葉とさせていただきます。

2014年9月

経営学部長 岸 志津江